

市更相の敷金支給件数（窓口） 108件

1月106件、2月116件、3月108件と横ばい状態。さて、4月は？

たまには、国語のお勉強

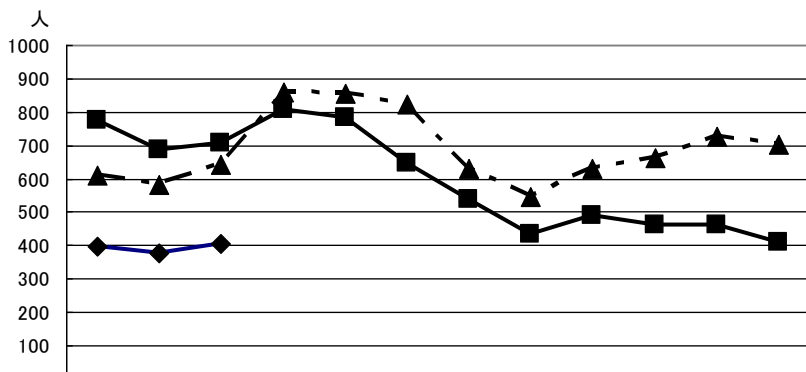
前の号の「夜間学校ニュース」の立て見出しは、「4月
から、生活保護は厳しくなった？→そんな萌しはありま
せん」でした。ある人から、質問有り。「で、厳しくなっ
たの、厳しくならなかったの？」

【兆し・萌し】は、「[「草や木の芽ばえ」の意から] ある
物事が起こることを予想させるしるし。前兆。徴候。」と
いうことです。「萌しはない」は、厳しくなる前兆はない、
ということで、「厳しくなっていない」が正解です。

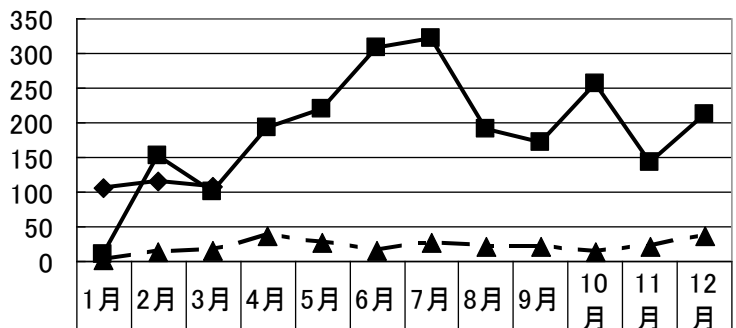
3月の夜間宿所1日当たり利用者は、2月より27人増加
一人一人の行動が、街を変える
夜間宿所の3月における1日当たり利用者数が、3
ヶ月ぶりに400人台になりました。去年3月は、7
06人でしたから、去年と比べると300人は少ない
のですが、増加傾向であるには違いありません。
大阪市立更生相談所の、「窓口」敷金支給件数は、上
に書いてあるように100件台で、横ばい状態です。

これは、敷金支給が厳しくなったと言うことではな
く、市更相で生活保護を申請する人が、少なくなつて
いることを示しています。
減少していることになります。
89件でした。それと比べると、一月当たり80件程度
敷金支給した件数の合計は、2274件。一月平均1
昨年1月から12月までの1年間に、市更相が窓口で

夜間宿所1日平均利用者（月別）



市更相敷金窓口支給（月別）



昨年さくねんの市更相しこうそう窓口まどぐちでの敷金支給しききんしきゅうは、4月がつから7月がつにかけて急増きゅうぞうしています。

今年ことしも、市更相しこうそうでの生活保護申請・敷金支給せいかつほごしんせいしききんしきゅうけんすう件数のが伸びて、夜間宿所の列が更に短くなることを、期待きたいしたいと思います。

最近さいきんの新聞紙上しんぶんしじょうでは、生活保護申請を手助けする、いいアパートを世話せわする、などと、路上や公園などで声を掛け、入居後、弁当の強要や不明瞭な経費徴収などで、生活保護受給者きゅうしやを食いものにする業者のことが取り上げられています。

センターでも、複数の業者が声かけやビラの配布はいふを行っているようです。それらの業者が、「悪質」かどうかは判りませんが、声かけに乗って、相談してみようという気がそがれる状況じょうきょうにあることは確かです。

生活保護申請は、誰かの手助けがなければできない、というほど難しいものではありません。また、自分でアパート・マンションを探すのも、そう難しいことではありません。

迷っている人は、とりあえず、「自助努力援助のための手引き書―生活保護は怖くない」(無料)を読んでみてください。夜間学校ニュース配布中はいふちゅうには、カバンの中に持っています。遠慮せずに、声を掛けてください。

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも(永住権を持つ外国人を含む)活用することが出来ます。

65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所(市更相)は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター(大阪社会医療センター)は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書―生活保護は怖くない」(無料)をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食事を提供し、就職活動を支援する施設です。入所希望者は、大阪市立更生相談所(市更相)で相談を。

不動産屋さん紹介(気軽に相談を。しかし、真剣に)

※ 双葉商事さん(電話~~06・6561・4392~~)

鶴見橋商店街の奥(西の端)。敷金不要の今すぐ入れる物件もあります。勿論、風呂付き敷金要の物件も。とりあえず電話で時間を決めて、その後の段取りを決めましょう。

※ フラップさん(電話~~06・6658・8888~~)

26号線花園交差点、イズミヤの南6～7メートル。西成区以外の物件もあります。

必ず、実物(部屋)を2～3見て比較、周囲の環境を考えて、得心して決めましょう。